

# 京都産業大学 総合生命科学部 バイオフィォーラム 2013

最先端の生命科学研究に触れてみませんか

バイオフィォーラム 6月26日(水) 開催

【開場】 12:45～

【開演】 13:15～14:15

【場所】 京都産業大学 15号館1階15102セミナー室

【講師】 医学博士

(株)フジ環境サービス 学術顧問

**田原 雄一郎 氏**



【演題】 中米諸国のシャーガス病予防圧作戦

田原氏は55歳の誕生日の前日、32年間勤めた三共株式会社(当時)を辞して、中米のグアテマラで展開中のJICA(国際協力事業団)の熱帯病防圧研究プロジェクトに参加した。それまで三共(株)では、応用昆虫学の知識を生かすべく新規殺虫剤の国内導入、厚生省認可テーターの収集、畜舎のハエ対策、都市河川のユスリカ対策などに携わってきた。1994年(平成6年)8月、グアテマラにJICAの医昆虫学専門家(半年後リーダー兼務)として赴任した田原氏は、San Carlos Universityの研究者達とシャーガス病の媒介虫(サシガメ)の生態・分布・防除法の研究に従事することとなった。約5年間の調査研究で、サシガメ調査法の確立、サシガメのリスク家屋の洗い出し、サシガメの全国分布調査、防除法の確立などの成果が得られ、24編の学術論文が生まれ、4名の研究者に学位を取得させることができた。その後、この研究成果を住民福祉に生かす方法が模索され、2000年からグアテマラで媒介虫防除が展開された。WHO(米大陸ではPAHO)の後押しもあって2003年からホンジュラスとエルサルバドルで、2006年からニカラグアでサシガメ防圧作戦が展開された。この一連の防圧作戦に短期専門家として携わってきた。2000以降の防圧作戦には専門家とともに多数の青年達が海外青年協力隊員として活躍した。グアテマラ、エルサルバドル、ホンジュラスでは大きな成果が生まれ、乳幼児や学童の死亡率の低減となって現れてきた。1999年グアテマラから帰って以来、JICAの短期専門家を続けながら害虫防除企業(PCO)でゴキブリの研究に従事している。本講演では中米諸国のシャーガス病防圧について講演する。

お問合せ

京都市北区上賀茂本山

京都産業大学 総合生命科学部事務室 Tel.075-705-1466

交通

※キャンパス内に駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

地下鉄「国際会館駅」下車→京都バス(40系統)で京都産業大学前下車

地下鉄「北大路駅」下車→市バス(北3号系統)または京都バスで京都産大前下車

主催

京都産業大学 総合生命科学部



事前申込不要・入場無料